

★★令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画

都道府県名		福島県		電話番号		0244-37-2132		第一次配分額		135,805		第一次交付限度額		135,805																
地方公共団体名		相馬市		メールアドレス		k-kikaku@city.soma.lg.jp		第二次配分額		413,733		第二次交付限度額		413,733																
都道府県・市町村コード(5桁)		07209		交付対象経費		574,326		第三次配分予定額 (本省繰越希望額を除く)		8,497		第三次交付限度額(地方単独分)		207,258																
担当部局課名		企画政策部 企画政策課		国庫補助事業費		8,501		本省繰越予定額		209,115		第三次交付限度額(補助裏分)		10,354																
				地方単独事業費		565,825		配分予定額計		558,035		第三次交付限度額のうち 本省繰越希望額 (第三次地単分+法定事業費以内)		209,115																
								移替先		総務省		交付限度額計		767,150																
No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分						
															総事業費	補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他					G 補助対象外経費					
合計															591,727	16,865	8,364	574,326	-	9,037	-									
1	単	公共的空間安全・安心確保事業		①②③ 公共施設(市庁舎、学校、スポーツ施設、文化施設等)での感染防止対策に要する費用 【窓口業務用】18,456,909円 ・アクリル飛沫防止パネル (H800×W1000)@15,730円×70枚 =1,101,100円 (H800×W600) @14,960円×2枚 = 29,920円 ・非接触体温計 @22,000円×2台= 44,000円 @10,120円×25台= 253,000円 ・消毒用アルコール、ビニールシート等 532,369円 ・手指消毒液自動供給装置一式 365,530円 @10,890円×16台=174,240円(供給装置) @517円×16台= 8,272円(専用トレイ) @9,405円×16台=150,480円(専用スタンド) @979円×22台= 21,538円(専用ボトル(予備含む)) @110円×100個= 11,000円(アルカリ電池(予備含む)) ・消毒液スタンド用マット @6,402円×20枚=128,040円 ・サーマルカメラ(ドーム型)一式 @584,650円×3台=1,753,950円 ※繰越対応分:14,249,000円 ・足踏み式消毒液スタンド @17,050円×77台=1,312,850円 ・消毒液スタンド用マット @8,000円×88台=704,000円 (自動:18、足踏み:79、既存設置スタンド:11、購入済み:20枚) ・ステップマット(庁舎用2台×2枚) @24,860円×4枚=99,440円 ・サーマルカメラ(モバイル) @200,000円×52台=10,400,000円 ・その他消耗品 1,732,710円 【公民館事業用】※各種教室活動での感染防止 372,234円(うち対象額:346,000円(補正予算額)) ・ビニール飛沫防止幕用型枠(小) @998円×7個=6,986円 ・ビニール飛沫防止幕用型枠(大) @4,675円×10個=46,750円 ・飛沫抑制講師用マイク @3,740円×18個=67,320円 ・飛沫抑制講師用スピーカー @2,673円×18個=48,114円 ・マイク・スピーカー充電器 @3,388円×10個=33,880円 ・大会議室換気用サーキュレーター @8,690円×10台=86,900円 ・小会議室換気用サーキュレーター @14,850円×1台=14,850円 ・消毒用アルコール @8,964円×1個= 8,964円 ・次亜塩素酸水 @18,150円×1個=18,150円 ・界面活性剤 @6,400円×3個= 19,200円 @6,240円×3個= 18,720円 ・ゴム手袋 @120円×20個= 2,400円 【図書館事業用】1,128,543円※図書の消毒による感染防止等 ・LIVA図書消毒機 @750,000円×1.1=825,000円 ・消臭抗菌剤 @2,500円×2本×1.1=5,500円 ・紫外線殺菌ランプ @35,000円×1式×1.1=38,500円 ・保守費用(R2.11~R3.3) 27,500円 ・空気清浄機 @58,000円×2台×1.1=127,600円 @47,474円×2台×1.1=104,443円 【スポーツ施設等事業用】1,096,920円 ・スポーツアリーナそうま網戸設置費 675,400円 ・相馬市復興交流支援センター網戸設置費 158,400円 ※体育館兼避難所での3密対策・害虫対策 ・非接触型体温計購入 @10,120円×26本=263,120円 【議会事務局事業】201,300円 ・飛沫感染対策アクリルパーテーション (H600×W600) @8,580円×9台=77,220円 (H600×W800)@11,990円×6台=71,940円 (コの字・H900×W1100×D600)@26,070円×2台=52,140円 【高齢者訪問調査事業】129,988円 ・ゴム手袋 @43,000円×1ケース×1.1=47,300円 ・フェイスシールド @330円×10個=3,300円 ・アルコール(ジェル) @12,800円×2ケース×1.1=28,160円 ・アルコール(液体) @10,680円×2箱×1.08=23,068円 ・マスク @450円×36箱×1.1=17,820円 ・防護服 @3,500円×2箱×1.1=7,700円 ・ペーパータオル:@132円×20箱=2,640円 ・合計 21,359,660円 ④公共施設(市庁舎、スポーツ施設、文化施設、小中学校等)										I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.4	R3.4以降	21,360						21,360					サーマルカメラ及び手指自動供給装置等の購入については、2月専決(補正予算)で対応するため、納入が4月以降となるため。	R2補正(地)

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分(地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A					参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分	
															総事業費	B								補助対象外経費
																補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債予定額					
13	単	医療・介護・福祉施設等へのマスク配布事業		①市内の医療機関等での施設内感染を防止するためにマスクを配布する。 ②③④ 市内の医療機関(603人)、歯科(111人)、障がい介護事業所(927人)、薬局(93人)の職員へのマスク配布に要する費用 17.6円×100枚/人×1,724人=3,034,240円 17.6円×100枚/人×20人=35,200円(予備) 合計:3,069,440円	-	-	-	-	-	-	I-3. 医療提供体制の強化	②いずれも該当しない	R2.6	R2.9	3,070			3,070					R2補正(地)	
14	単	「新しい生活様式」対応支援金		①②③④ 市内の事業所(1,459社)が「新しい生活様式」に対応した営業を行うための費用として一律10万円を支給する。 1,453社×100,000円=145,300,000円	-	○	-	-	-	-	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	②いずれも該当しない	R2.10	R3.3	145,300			145,300					R2補正(地)	
15	単	新しい生活様式に対応した観光事業の創設		①宿泊者が利用できる自転車を市内の各旅館に配置し、宿泊者が本市の自然など新たな魅力に触れる機会を創出し、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている観光業の復興を後押しする。 ②自転車購入費用 ③④ 設置宿泊施設:38施設(市街地:13施設、海岸地域:25施設) ・電動自転車(24インチ) 30台 3,767,544円 ・電動自転車(26インチ) 30台 3,767,544円 ・3段変速自転車 40台 2,460,392円 ・子ども用自転車 27台 1,519,689円 ・のぼり作成 @858円×50組=42,900円 ・エコユニボード @275円×130枚×1.1=39,325円 ・スーパードンパ @1,950円×30個×1.1=64,350円 ・プリヂストンヘルメット 子ども用 @3,850円×27個=103,950円 ・プリヂストンヘルメット Mサイズ @5,940円×50個=297,000円 ・プリヂストンヘルメット L @5,940円×50個=297,000円 ・レンタサイクルステッカー @84円×260枚×1.1=24,024円 ・キングジムデブラPROテープ @1,410円×10個×1.1=15,510円 ・結束バンド @490円×6袋×1.1=3,234円 ・キングジム取扱説明書ファイル差替式 @825円×30冊×1.1=27,225円 ・松川浦サイクリングマップ 248,600円 ・コクヨ キーホルダー型名札 37,400円 ・合計 12,715,687円	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑩新たな旅行	R2.10	R3.3	12,716			12,716					R2補正(地)	
16	単	宿泊等助成事業		①② 新型コロナウイルスからの観光再生に向け、観光需要喚起のため、宿泊費用の助成を行う。 ③ 申請件数:6,351件・10,826枚 ・助成額(実績) @5,000円×6,111枚=30,555,000円 ・利用券郵送料(切手代) 508,800円 ・偽造防止用紙 @7円×15,000枚(予備含む)×1.1=115,500円 ・インクカートリッジ(黒) @2,750円×3個=8,250円 ・インクカートリッジ(3色) @3,047円×3個=9,141円 ・スタンダード用紙(A4) @2,035円×2箱=4,070円 ・色上質紙(A4・薄口) @2,530円×10箱=25,300円 ・タックインデックス @957円×10冊=9,570円 ・フランクバスケット @940円×1個(5ヶ入)=940円 ・レターオープナー @1672円×1個=1,672円 合計 31,238,243円 ④市内旅館等への宿泊者	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑨商品券・旅行券	R2.10	R3.3	31,239			31,239						R2補正(地)
17	単	スポーツ合宿等助成事業		①② 新型コロナウイルスからのスポーツ観光等の再生に向け、スポーツ合宿等の助成を実施する。 ③ 申請件数:17件・513枚 ・助成額(実績) @2,000円×212枚=424,000円 ・偽造防止用紙 @7円×15,000枚(予備含む)×1.1=115,500円 合計 539,500円 ④市内施設でスポーツ合宿等を行う者	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑨商品券・旅行券	R2.10	R3.3	540			540					R2補正(地)	
18	単	公共施設予約システム導入事業		①公共施設の予約システムを導入することで窓口での接触機会を減少させるとともに、利用者の利便性向上を図る。 ②③ ・システム導入費 2,915,000円(繰越分) ・ノートPC @70,200円×1台×1.1=77,220円 ・ルーター @23,600円×1台×1.1=25,960円 合計 3,018,180円 ④公共施設(7箇所)	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	④行政IT化	R2.10	R3.4以降	3,019			3,019				システム構築に日数を要し、年度内に完了しないため。	R2補正(地)	
19	単	肥育素牛導入支援事業		①② 新型コロナウイルス感染拡大防止措置の影響でインバウンド需要の減少により和牛の枝肉価格が大きく下落していることから、和牛肥育農家の経営の継続と産地の維持を図るため素牛導入に要する経費の一部を助成する。 ③ ・助成額 1頭当たり導入経費の1/10以内(上限100,000円) ・想定数 9頭 総導入額7,019,000円×1/10=701,900円 ④市内の肥育農家	-	-	-	-	-	-	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②いずれも該当しない	R2.10	R3.3	702			702					R2補正(地)	

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分(地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考①(地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考②(事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分	
															総事業費	B									補助対象外経費
																補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他					
20	単	市役所代替窓口整備		①② 新型コロナウイルスの感染症の影響により市庁舎での窓口業務等が行えない場合における代替窓口に必要な機器を整備する。(業務体制維持にはテレワークを含む。) ③ ・住基、税等業務端末(ノート型PC) @166,650×53台=8,832,450円 ・プリンター:64,900円 ・レイヤーIIスイッチ:602,800円 ・ノートPC用消耗品:54,648円 ・ネットワーク機器等:244,722円 ・モバイル通信サービス契約:133,982円 (初期費用:56,910円、使用料:77,072円) ・ノートPC用ウイルス対策ソフト :62,381円 合計 9,995,883円 ④市庁舎、スポーツアリーナそうま	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.10	R3.3	9,996								R2補正(地)		
21	単	子育てママの安全・安心個別相談事業		①保健センターにおける母児個別相談事業での感染防止に必要な物品の購入 ②③ ・ノートタッチ薬液供給装置 43,692円 @9,900円×2台×1.1=21,780円(供給装置) @470円×2台×1.1= 1,034円(専用トレー) @8,550円×2台×1.1=18,810円(専用スタンド) @940円×2本×1.1= 2,068円(専用ボトル) ・手指消毒液 @3,400円×10本×1.1=37,400円 ・飛沫防止パーテーション @15,400円×2台×1.1=33,880円 ・カウゼリング(机・椅子)セット @281,000円×1.1=309,100円 ・スクリーン @16,750円×4枚×1.1=73,700円 ・スクリーンジョイント @220円×5セット×1.1=1,210円 ・ベビースケール @72,250円×1台×1.1=79,475円 ・加湿空気清浄機 @33,880円×1台×1.1=37,268円 ・両面印刷機 @1,432,000円×1台×1.1=1,575,200円 合計 2,190,925円 ④保健センター	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.10	R3.3	2,191								R2補正(地)	
22	単	相馬地方広域市町村圏組合負担金		①相馬地方広域市町村圏組合が実施する新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の相馬市負担分に充当する ②③ ・総務費 1,261,000円 ・消費費 5,158,000円 ・看護専門学校費 5,161,000円 ・合計 11,580,000円 【相馬市負担分】 4,543,000円 ④相馬地方広域市町村圏組合	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.4	R3.3	11,580			4,543	7,037				R2補正(地)	
23	単	学力向上推進事業		①新型コロナウイルス感染症対策での臨時休業による学習機会の縮小に伴い、児童生徒の読解力の把握と分析に基づき、読解力育成による学力向上を図るもの。 また、今年度は全国学力・学習状況調査が実施されないため、児童生徒の学力について現状を分析し、学力向上の指標とする。 ②③④ ・リーディングスキルテスト受験料 3,346,530円 対象:小学校6年生、中学校1~3年生 受験料:@1,815円×1,432人=2,599,080円 諸経費:747,450円 ・研修費用 183,876円×8回=1,471,008円 合計 4,817,538円	-	-	-	-	-	-	-	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	①いずれも該当しない	R2.9	R3.3	4,818			4,818					R2補正(地)	
24	単	GIGAスクール構想に伴うICT教育整備事業		①新型コロナウイルス感染症対策での臨時休業に伴い、縮小した児童生徒の学習機会を確保するため、ICT教育環境を整備する。 ②生徒用タブレット端末(1人1台整備に係る経費)、大型提示装置整備費用 ③ 【タブレット】 必要額:9,492,890円 内訳 ・3人に1台分(地方単独事業)のうち未整備分 単価44,990円×211台=9,492,890円 ・3人に2台分(国費事業)についての国からの定額補助 単価44,990円×422台=18,985,780円 【大型提示装置】 必要額:15,010,699円 必要台数:60台 (小学5・6年生、中学2・3年生の教室に各1台) 【iPad保護ケース】 必要額・台数:@3,410円×363台=1,237,830円 (小学5・6年生分) 【体育館等用プロジェクター】複数クラスでの合同授業で使用 必要額:305,800円 必要台数:1台(各学校共用) 【デジタル教科書(小学校)】 必要額:10,816,850円 内訳 ・国語:@71,275円×6学年×9校=3,848,900円 ・社会+理科:@189,814円×17校=3,226,850円 ・音楽:@69,279円×6学年×9校=3,741,100円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	⑨教育	R2.6	R3.3	38,757			38,757		公立学校情報機器整備補助金(文部科学省)		R2補正(地)

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分		
															総事業費	B									補助対象外経費	
																補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他						
31	単	新生児子育て臨時特別給付事業		①②③④ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、特別定額給付金の対象外である、令和2年4月28日から令和3年3月31日に生まれた新生児1人あたり10万円を支給する。 ・給付金 @100,000円×193人=19,300,000円 うちR3.4月支払分:2,700,000円 ・郵送料(通知、振込通知) 22,092円 (内訳) 通知 @84円×97通= 8,148円 振込通知 @84円×166通=13,944円 合計 19,322,092円	-	-	-	-	-	-	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	②いづれも該当しない	R2.9	R3.4以降	19,323								3月に申請を受け付けた分については、支払いが4月となるため。(間接補助事業)	R2補正(地)		
32	単	議会タブレット端末整備事業		①②市議会議員と市役所職員等の接触機会を減らし感染拡大を防止するとともに、感染が拡大した場合でも、議会機能の維持のために必要となる機器を整備する。(議会機能維持には、テレワークを含む) 整備台数:22台(議員18台、事務局4台) ③ タブレット端末整備費 2,518,736円 機種:iPad air 64G 付属品:Apple Pencil、保護ケース、保護フィルム その他:設定費用一式、契約事務手数料 ④相馬市議会議員(18名)及び事務局員(4名)	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R3.1	R3.4以降	2,519								iPadが品薄状況であり、納品が4月以降となるため。	R2補正(地)		
33	補	地方消費者行政強化交付金	内閣府	①②専門家による無料困りごと相談をオンラインで実施することにより、相談者と専門家の接触機会をへらし、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ。 ③ ・タブレット型PC @119,000円×2台×1.1=261,800円 ・液晶ディスプレイ @25,000円×2台×1.1=55,000円 ・キーボード @17,400円×2個×1.1=38,280円 ・マウス @3,400円×2個×1.1=7,480円 ・パソコン用タッチペン @10,400円×2本×1.1=22,880円 ・セキュリティワイヤー @1,200円×2個×1.1=2,640円 @3,700円×2個×1.1=8,140円 ・電源タップ @1,230円×2個×1.1=2,706円 ・ディスプレイ変換アダプタ @2,200円×2個×1.1=4,840円 合計 403,766円 国庫補助額:134,000円(補助率1/3) 相馬市負担額:269,766円 ④無料困りごと相談利用者	-	-	-	-	-	-	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	①3密対策	R2.11	R3.3	404	404	134	270						R2補正(国)		
34	単	第3次新型コロナウイルス院内感染予防対策支援		①②③④市内の一般診療所(22ヶ所)、歯科(18ヶ所)が実施する院内感染防止等に要する経費を支援 400,000円×40件=16,000,000円	-	○	-	-	-	-	I-3. 医療提供体制の強化	②いづれも該当しない	R3.3	R3.4以降	16,000									3月補正対応のため十分な周知及び申請期間を確保できないため。	R2補正(地)	
35	単	新型コロナウイルス高齢者施設等感染予防対策支援		①②③④市内の高齢者・障がい者福祉施設等が実施する施設内感染防止等に要する経費を支援 ・対象 高齢者福祉福祉施設 50事業所 障がい者福祉施設 30事業所 ・支給総額:5,520,000円 施設長期入所事業 70,000円×11事業所=770,000円 施設短期入所事業 70,000円×6事業所=420,000円 サービス付高齢者住宅 70,000円×1事業所=70,000円 通所介護事業等 70,000円×26事業所=1,820,000円 地域活動支援センター事業 70,000円×2事業所=140,000円 障害児通所支援事業 70,000円×5事業所=350,000円 訪問介護事業等 50,000円×27事業所=1,350,000円 計画相談支援事業 30,000円×20事業所=600,000円 (例:施設長期入所事業と訪問介護事業を実施している場合、700,000円+50,000円=120,000円)	-	○	-	-	-	-	-	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	②いづれも該当しない	R3.3	R3.4以降	5,520									3月補正対応のため十分な周知及び申請期間を確保できないため。	R2補正(地)
36	単	オンライン会議システム等導入事業		①オンライン会議システムを導入することによる接触機会の減少及び職員用情報共有システムの導入によるテレワーク環境等の整備する ②③ ・オンライン会議「ZOOM」使用料 @34,320×2ライセンス=68,640円 ・LoGoチャット使用料 @440円×350人×12ヶ月=1,848,000円 ・合計 1,916,640円 ④相馬市職員	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R3.3	R3.3	1,917									R2補正(地)		
37	補	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る)	文科	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等の整備し、幼児、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進する ②③ ・非接触型体温計 @10,120円×125台=1,265,000円 うち国庫補助対象経費:961,000円 国庫補助額:480,000円(補助率1/2) 相馬市負担額:481,000円 ※国庫補助対象外:304,000円 ④市内の小中学校	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.7	R3.3	961	961	480	481						R2補正(国)		

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分	
															総事業費	B									補助対象外経費
																補助対象事業費	国庫補助額	C 交付対象経費	D 起債予定額	E その他					
38	単	学校再開に伴う感染症対策(相馬市単独事業)		①学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等の整備し、幼児・児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進する(学校保健特別対策事業費補助金の対象外分) ②③ ・非接触型体温計 @10,120円×125台=1,265,000円 うち国庫補助対象経費 : 961,000円 国庫補助対象外経費: 304,000円 ④市内の小中学校	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.7	R3.3	304										R2補正(地)
39	補	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る)	文科	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①各学校が学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習を保障するため体制の整備を促進する ②③ ・デジタル教科書 6,610,450円 算数: 3,858,800円(小学校・6学年×9校) 地図: 534,050円(小学校・1学年×9校) 英語: 704,000円(小学校・2学年×8校) 数学: 756,800円(中学校・1学年×4校) 理科: 756,800円(中学校・3学年×4校) ・修学旅行キャンセル料: 877,501円(中学校4校) ・備品購入費 3,190,000円 給食室用スポッ Tucker: 979,000円 (12台・小学校8校・中学校4校) ハンディ型体温測定用サーモグラフィ: 1,732,500円 (13台・小学校9校・中学校4校) アルコールスタンド: 478,500円 (15台・小学校9校・中学校4校(中村一小・桜小は2台)) ・消耗品費: 4,880,995円 アルコール、マスク、フェイスマスク、ハンドソープ他 合計: 15,558,946円 国庫補助対象経費: 15,500,000円 国庫補助額 : 7,750,000円(補助率1/2) 相馬市負担額: 7,750,000円 国庫補助対象外: 58,946円 ④市内の小中学校	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.7	R3.3	15,500	15,500	7,750	7,750						R2補正(国)	
40	単	第2次相馬市中小企業振興事業補助金		①②③ 商工会議所が実施する市内事業者に対する経済支援事業への補助金 ・プレミアム商品券事業 販売数: 12,000セット 販売額: 10,000円/セット 割増率: 15% 割増額: 1,500円/セット 事業費: 1,500円×12,000セット=18,000,000円 ④相馬商工会議所	-	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②いずれも該当しない	R3.4以降	R3.4以降	18,000			18,000					商品券の利用期間を確保するため。		R2補正(地)
41	単	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業(令和2年度予算分)		①ワクチン接種を安全かつ迅速に実施し、新型コロナウイルスの影響で疲弊している市内経済の早期の立て直しを図る。 ②ワクチン接種の経費のうち国庫負担金等の対象外となる費用に充当 ③ ・医療福祉関連費用 5,800,000円 医療用備品・消耗品(ワクチン保管用冷蔵ショーケース) 5,800,000円 ・市民対応関連費用 12,720,000円 消耗品・印刷費(意向調査(はがき、封筒、紙等)) 2,910,000円 郵送料(意向調査、接種券、案内通知等) 9,160,000円 コールセンター設置費用(電話機購入費、通話料) 650,000円 ・情報システム関連費用 13,040,000円 システム費用(改修費・使用料等) 8,380,000円 備品・消耗品購入費用(パソコン等) 4,350,000円 広報そま号外印刷費 310,000円 ・会場運営関連費用 17,540,000円 集団接種会場準備・管理費(光熱水費、消耗品費等) 4,870,000円 感染防止対策費(アルコール、アクリル板等) 3,000,000円 駐車場誘導警備委託料 9,670,000円 ・歳出合計 49,100,000円 ・歳入合計(ワクチン接種体制確保補助金) 40,000,000円 ・地方創生臨時交付金充当額(歳出合計-歳入合計) 9,100,000円 ④相馬市	-	-	-	-	-	-	I-3. 医療提供体制の強化	②いずれも該当しない	R3.2	R3.4以降	9,100			9,100					ワクチン接種体制確保補助金(厚生労働省)	予防接種を希望する全市民への接種には約4ヶ月が必要のため。	R2補正(地)